

指定管理者に関する第三者評価シート

1 施設の概要

(評価実施年度： 令和 7 年度)

施設の名称	東大阪市立稲葉市民広場 東大阪市立石切市民広場 東大阪市立池島市民広場			指定期間	令和5年度～	令和9年度
				選定方法	公募	
				指定管理者名	HOS株式会社	
所管部課名	都市魅力産業スポーツ部 スポーツのまち推進室 市民スポーツ支援課			評価機関名	株式会社 E.S CONSULTING GROUP	
施設の設置目的	市民の健康の増進と体位の向上を図る			主な事業	施設管理、運營業務、清掃、環境衛生、植栽、駐輪場管理、施設利用及び用具の貸出し等。	
設置時期	稲葉市民広場	昭和	39年度			
	石切市民広場	昭和	58年度			
	池島市民広場	平成	27年度			
主な料金体系 (有料・無料等)	有料(東大阪市立市民広場条例(昭和42年2月1日東大阪市条例第57号。以下「条例」という。))及び同施行規則(令和2年3月31日東大阪市規則第22号。以下「規則」という。)に従う					

2 管理運営状況等

年度	実績			今年度(予算)	次年度(見込)	
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
供用(開館予定)日数	-	稲葉:360日 石切:360日 池島:360日	稲葉:359日 石切:359日 池島:359日	稲葉:359日 石切:359日 池島:359日	稲葉:359日 石切:359日 池島:359日	
収支状況 (千円)	収入総額	-	13,748	13,696	14,203	14,454
	指定管理者委託料		13,645	13,175	13,175	13,175
	利用料金収入		0	0	0	0
	その他収入		103	521	1,028	1,279
	支出総額	-	15,722	15,752	14,203	14,454
	直接経費					
	人件費		11,023	11,798	5,505	5,652
	施設維持管理費 事業費		3,335	2,636	7,979	8,062
間接経費						
租税公課		0	0	623	639	
一般管理費		1,365	1,318	101	101	
収支差額	-	-1,974	-2,056	0	0	

※令和4年度までは市の直営であり、令和5年度から指定管理となった。

※千円単位での表示により、端数処理の関係で合計が一致しない場合があります。

3 第三者評価の総括

仕様書等の基準を超えて優良な場合は「S」
 仕様書等の基準通り実施された場合は「A」
 仕様書等の基準を下回り、一部に不備が見られる場合は「B」
 管理運営上不適切な部分があり、改善が必要な場合は「C」

評価の観点	第三者評価(評価できる点や要改善事項)		
	個別評価 S A B C	指定管理者に対する 主な意見	施設担当課に対する 主な意見
有効性 施設の設置目的が十分に達成出来たか？	A	施設の設置目的に合致した事業が実施され、問題なく管理・運営されている。 施設はスタッフによる日常的な除草作業が継続的に行われており、良好な維持管理状態が保たれている。衛生面・景観面ともに適切に管理されており、利用者が快適に活動できる環境が整えられている。 利用に関する苦情や事故等の報告はなく、概ね安定した運営が継続している。 今後は、簡易な意見収集方法を導入し、利用者満足度や要望を把握する仕組みを構築していくことが望ましい。	苦情への対応や、アンケート・ご意見箱の回答に対してのフィードバックなどが適切に実施されているか、適宜指導とモニタリングを行っていただきたい。
効率性 経費の低減等の効果があったか？	B	池島市民広場は単独で黒字を確保している。稲葉および石切市民広場は赤字であるが、光熱水費の削減が進んでおり、全体として一定の経費縮減効果が見られる。一方で、人件費については事業計画を上回っており、今後の運営における改善余地がある。	近年の物価高騰の影響により、必要経費の水準にも変動が生じることが予想されるため、サービス品質を維持するために必要な経費なのか、削減可能な経費なのかを適宜協議のうえ、最適なコスト管理を目指していただきたい。
適正性 公の施設に相応しい適正な管理運営が行われたか？	A	事業計画通りの運営が行われており、報告も不備なく行われている。 防災訓練は定期的を実施するよう仕組化されており、人材育成を目的としたホスタリアン研修を入社時の必須研修としている点が評価できる。	危機管理マニュアルや緊急連絡網が最新の状況であるかを適宜モニタリングしていただきたい。
継続性 財務状況 財務健全性が確保され、適正な会計処理が実施されているか？	B	自己資本比率・流動比率ともに低下傾向を示し、短期的な資金繰りに不安が見られる。 収益性については、総資本経常利益率がプラスの数値へと改善に向かっているが、物価・賃金が上昇傾向にあるため、収益性低下の要因となることが予測される。引き続き適切な経費削減に努め収益性を高めていただきたい。 稲葉・石切・池島の3施設では、いずれも令和5年度から指定管理制度が導入され、運営体制の安定化が進んでいる。 池島市民広場は黒字を維持しており、経営状況は良好である。 一方で、稲葉・石切の両施設は赤字が続いており、さらなる効率化と利用促進が課題である。	経費削減に向けた取組みが適宜行われているか注視していただきたい。
継続性 労務管理状況 職員の労働環境整備に向けた適切な取組みが実施されているか？	A	労働環境整備に向けて適切な取組みが実施されている。必須ではないが、時間外労働に対する賃金の項目名を単純な残業手当ではなく、割増分の支給であることがわかるような項目名への変更の検討を推奨する。	引き続き適切な取組みが実施されるよう適宜指導とモニタリングを行っていただきたい。
今後期待される点やその他特記事項	最終評価 A	事業計画通りの運営はなされているが、さらなる地域住民との交流機会の創出や施設の利用促進が期待される。	